

名前 橋本 琴奈 はしもと ことな

高校三年生

二面性のある女の子、清純な委員長としての一面と、裏垢女子の淫乱な一面がある。

厳格な家庭に生まれた少女は抑圧のストレスと、エロに触れ合っただけでこなかった好奇心から裏垢女子を始める

普段欲を隠して、いい子を演じて過ごしているため、その反動で汚しい、淫らな自分をみられることに興奮を覚えている。

裏垢女子の発散があるため、学校や家でもいい子の委員長として頑張ることができた。

7割はおしっこ我慢の投稿、残り3割は自慰行為などのノーマルエロ

本人曰く、もし失敗してみんなからの信用を失ったらどうしようと想像するのが興奮するらしい。

また自分の気持ちを出すのが苦手で、その点排泄欲求というどう足掻いても耐えられない排尿行為に引かれているところもある。

しかし大学受験を控え、進路や就職、ゆくゆくは結婚まで親に決められ始めた頃から大きなストレスを抱え、それに伴い裏垢女子の活動も過激になっていった。

自分ではなく、自分の理想図の娘としてしかみていないお母さんを嫌っている、けどそれに反発する勇気もなく、いい子を演じている自分のことは卑怯だとおもい、もっと嫌い。

(父は教育に無関心)

ある時期から裏垢女子を制服のまま撮ったり、学校で撮影するようになった。

破滅願望的な一面もみられ、あえて身バレするかしないかで撮影をし、もしバレてしまったら今までの積み上げてきたものが崩れ落ちることを想像するととても興奮するらしい。

無意識下で、本当にバレて、全部ぐちゃぐちゃになったらいいのという感情も混じっているが、冒頭の時点ではまだ自分で認知できていない。

親の良い子として生まれた委員長という自分と、そのストレスから生まれた裏垢女子としての自分。どちらも外的要因で生まれたため、本当の自分がわからなくて苦悩している。